

企業人派遣講座



2023 年度

講義一覧

一般財団法人

経済広報センター

企業人派遣講座について

経済広報センターは、次代を担う大学生に最新の経済動向や産業の実態などについて、実感をもって理解していただくことを目的に、企業経営者や第一線で働く経営幹部、技術者を講師として大学に派遣する「企業人派遣講座」を開設しています。1986 年度に早稲田大学 国際部（現・国際教養学部）で開始して以来、12 大学で講座を開設し、多彩な企業人が、企業の特色ある事業や直面している経営課題、技術開発について、最新のトピックスを交えながら、わかりやすく学生たちに語りかけてきました。

2023 年度は、3 大学 3 講座を開設、延べ 37 人の講師を派遣しました。受講した学生は、合計 831 人のぼります。本講座は、大学や学生から、日本経済や企業の実態、技術の最先端に触れることができる貴重な機会であると高い評価を得ています。一方、講師の方々からも、学生に産業や企業について深く理解してもらえる良い機会である、との評価を得ています。

近年、めまぐるしく変化する世界経済の中で、我が国が自立的・持続的な経済成長をしていくためには、イノベーションが継続して産まれる環境作りが必要不可欠となっています。このイノベーション創出のためにも、大学の「知」や次代を担う「人財」と、付加価値の高い製品やサービスを社会に提供し続ける「企業」とが交流し連携することは、非常に大きな意義を有していると考えられます。そのため、産学連携による本講座は、大学と企業とが出会い、産業界で活躍できる人材を育てる場の一つとして、今後も提供してまいります。

一般財団法人 経済広報センター

慶應義塾大学

商学部

春学期 火曜日 13:00~14:30

- 受講生 慶應義塾大学3・4年生 467名
- コーディネーター 杉田 洋一／慶應義塾大学 商学部教授
- 単位 2単位

経済・社会環境の変化に対応する企業の挑戦

〔シラバス抜粋〕

近年の目まぐるしい経済・社会環境の変化の中で、企業はどのように対応しているのだろうか。何をビジネスチャンスとして捉えて、企業を成長させているのだろうか。経済・社会環境の変化の中には、ある程度予測可能なものもあれば、全く予測できないようなものもある。それら将来生じる変化に対応するために、企業はどのように準備しているのだろうか。

本講座を通じて、学生は日本企業を取り巻く経済・社会環境の変化について理解を深めることができる。また、企業の直面する課題と対応の具体例事例に多く触れることで、他の講義科目での学習の動機付けとなるだろう。

4月11日	オリエンテーション 経済・社会環境の変化と企業の対応 求められる人材とは	杉田 洋一 佐桑 徹	慶應義塾大学 商学部教授 経済広報センター 常務理事・国内広報部長
4月18日	「新成長戦略」我々が目指す社会像、DX 推進、日本におけるオープンイノベーション	小川 尚子	日本経済団体連合会 新経済社会創造タスクフォース兼産業技術本部副部長
4月25日	三菱商事の業態変革について	浦本 秀登	三菱商事 経営企画部経営企画室
5月9日	NECのPurposeとDXの取り組み	岡部 一志	日本電気 コーポレートコミュニケーション統括 シニアディレクター
5月16日	決済をめぐる経済・社会環境の変化と日本銀行の取り組み	別所 昌樹	日本銀行 決済機構局 FinTech センター長
5月23日	住友化学の事業を通じた社会への貢献—サステイナブルを、化学のPOWERで—	山本 恭子	住友化学 サステナビリティ推進部 主席部員
6月6日	住友金属鉱山の歴史と人材戦略	西原 寛	住友金属鉱山 人事部長
6月13日	心はずむ未来の実現に向けた日本航空の取組みについて	林 浩一	日本航空 執行役員 北海道支社長
6月20日	サステナビリティを取り巻く社会の環境変化と、住友商事の取り組み	傳田 貴士	住友商事 サステナビリティ推進部 部長代理 戦略企画チーム長
6月27日	日立の社会イノベーション事業への挑戦	熊谷 貴禎	日立製作所 イノベーション成長戦略本部コーポレートベンチャリング室 イノベーションマーケティング部 部長
7月4日	経済・社会環境の変化に対する企業の挑戦～投資家の視点～	松原 稔	りそなアセットマネジメント 常務執行役員（責任投資部担当）
7月11日	事業を通じて社会的課題の解決を目指すオムロンの企業理念経営	井垣 勉	オムロン 執行役員常務 グローバルインベスター & ブランドコミュニケーション本部長 兼 サステナビリティ推進担当
7月25日	試験	杉田 洋一	慶應義塾大学 商学部教授

早稲田大学

商学部

秋学期 木曜日 13:10~14:50

- 受講生 早稲田大学商学部・他学部 2年生以上 319名
- コーディネーター 久保 克行／早稲田大学 商学学術院教授
- 単位 2単位

変化に対応する日本企業

〔シラバス抜粋〕

日本企業をとりまく環境は、新型コロナウイルス感染拡大はもちろん、少子高齢化、グローバル化の進展、ICT技術の急速な発展、政府の財政状況の悪化、中東・欧州・東アジア等における経済状況の急変などにより大きく変化し、旧来のビジネスモデルは修正を余儀なくされています。この講義では、経済の最前線で活躍されている方々をお招きして、日本企業がこれらの環境変化に対し、どのように対処しているかを直接お話しいただきます。

10月5日	ガイダンス	久保 克行	早稲田大学 商学学術院教授
	日本社会の変化と企業活動の変化	佐桑 徹	経済広報センター 常務理事・国内広報部長
10月12日	まちづくりの最近の潮流・変化への対応～大手町・丸の内・有楽町地区のまちづくりDXの取組み～	後藤 泰隆 川合 健太	三菱地所 都市計画企画部長 都市計画企画部
10月19日	決済をめぐる経済・社会環境の変化と日本銀行の取り組み	別所 昌樹	日本銀行 決済機構局 FinTech センター長
10月26日	ヤマトグループが取り組むサステナブル経営	秋山 佳子	ヤマト運輸 執行役員 サステナビリティ推進部長
11月2日	世界の潮流、そして日本企業に必要な「変革」とは何か	坂本 佳子	アクセントチュア Accenture Song 通信メディアハイテク／公共サービス・医療健康 クライアントグループ 共同日本統括マネージング・ディレクター
11月9日	事業を通じて社会的課題の解決を目指す オムロンのサステナビリティ経営	井垣 勉	オムロン 執行役員常務 グローバルインベスター&ブランドコミュニケーション本部長 兼 サステナビリティ推進担当
11月16日	宇宙で暮らす時代に建設業が果たす役割～世代交代のための人工重力施設研究～	大野 琢也	鹿島建設 イノベーション推進室 担当部長（宇宙）
11月30日	未来をつくる「クラフトビール」と「キリン」	堀 伸彦 岡本 理沙	キリンホールディングス 執行役員 コーポレートコミュニケーション部長 キリンビール マーケティング本部 事業創造部
12月7日	創業 150 年を迎える企業の姿	名塚 龍己	古河機械金属 取締役常務執行役員
12月14日	メルカリの今とこれから	梅澤 亮	メルカリ 執行役員 VP of HR
12月21日	Changing Constantly to Remain Unchanged 変わらないために変り続けてきた会社	Angelica Munson	資生堂 Executive Officer Chief Digital Officer
1月11日	環境エネルギー分野に関する経団連の取り組み	長谷川 雅巳	日本経済団体連合会 環境エネルギー本部長
1月18日	クリーンウォーター事業への取り組みと新たな挑戦	梶原 浩	ヤマハ発動機 海外市場開拓事業部 企画推進部クリーンウォーターグループ グループリーダー
1月25日	理解度の確認（試験）	久保 克行	早稲田大学 商学学術院教授

東京工業大学

大学院共通

後学期 水曜日 15:25~17:05

- 受講生 東京工業大学大学院学生ほか 45名
- コーディネーター 多湖 輝興 / 東京工業大学 物質理工学院教授
- 単位 2単位

科学技術特論 ～エネルギー・環境技術の最先端と将来展望～

〔シラバス抜粋〕

大学院学生に産業界の最前線の情報を提供しつつ、グローバルな視点を有する優れた人材を育成することを目的に開講し、産業界あるいは企業と大学との接点を見出しそれぞれが描く将来展望のすりあわせを図ることを期待している。また研究開発や教育等で、世界的な活躍が期待される、またそのような意欲に燃えた受講生にとって、将来本講義で習得した高度な専門知識が生かされることを期待している。

10月4日	ガイダンス	多湖 輝興	東京工業大学 物質理工学院教授 多湖 輝興
	経済社会構造の変化と環境・エネルギー問題	佐桑 徹	経済広報センター 常務理事・国内広報部長
10月11日	発電用ガスタービンの技術開発の現状と展望	正田 淳一郎	三菱重工業 執行役員 エナジードメイン副ドメイン長 兼 技術戦略室長
10月18日	エネルギー政策に対する経団連の基本的考え方と取り組み	笠井 清美	日本経済団体連合会 環境エネルギー本部 上席主幹
10月25日	エネルギーと気候変動	中山 寿美枝	電源開発 執行役員
11月1日	プラスチック資源循環の現状と将来展望	土本 一郎	プラスチック循環利用協会 専務理事
11月8日	鉱業業界におけるエネルギー・環境技術の現状と展望	田中 史人	三菱マテリアル 金属事業カンパニー 開発部長
11月15日	航空業界におけるエネルギー・環境先端技術	花井 直人	JAL エンジニアリング エンジン整備センターセンター長
12月6日	エネルギー・環境技術の最先端と将来展望 EV 社 覚知 誠 会に向けて		トヨタ自動車 CN開発部 CN先行技術 PJT 推進室 主査
12月13日	鉄鋼業界におけるエネルギー・環境先端技術と地球温暖化対策	鷲見 郁宏	JFEスチール 技術企画部 理事 地球環境グループリーダー
12月20日	バイオマスエネルギーの高度利用と将来展望	吉村 美毅	鹿島建設 環境本部次長 兼 地球環境室長
1月10日	原子力発電の現状及び展望	市川 長佳	東芝エネルギーシステムズ エネルギーシステム技術開発センター 化学技術開発部 技術顧問
1月17日	二酸化炭素の回収・貯留技術の現状と展望	寒川 博之	日揮グローバル 理事 プロジェクトソリューションセンター エンジニアリング部 部長
1月24日	2050年に向けたエネルギーシナリオと変革の切り口	金田 武司	ユニバーサルエネルギー研究所 代表取締役社長
1月31日	講義全体の総括、理解度確認と到達度自己評価	多湖 輝興	東京工業大学 物質理工学院教授 多湖 輝興

